

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	リーディング2		
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（ベース専攻）	開設期		
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数		
単位数	1単位			授業形態		
教科書/教材	必要資料はプリントなど配布する					
担当教員	田中 亮輔	実務経験の有無・職種	有・プロミュージシャン			
学習目的						
臨時記号や調合などの基礎知識はもちろん、自身の楽器の表現可能音域などをしっかりと把握していく。また楽曲の構成など全体が見渡せるようにしていく。楽曲の理解度を深めることにより、よりクリエイティブなベースラインを構築できるようになることを目的とする。						
卒業ライブにおけるオリジナル楽曲のベースラインアレンジが潤滑及び早くできるようにトレーニングを重ねる。						
到達目標						
譜面をしっかりと読むと同時に、譜面にある必要最低限の情報からの表現力の幅を広げていく。						
オリジナルベースラインを楽曲を理解した上で、最善のものをクリエイトできるようにすることを目標にする。						
既存の楽曲のオリジナルラインを変化させ独自のラインを構築できるようにし、それを他の楽曲に反映させることができるように知識も習得していく。						
教育方法等						
授業概要	課題とする音源・譜面から構成などを説明。また、ジャンルの違いによる演奏のアプローチについても解説。 基礎トレーニングを踏まえ、合理的な（スムーズな）運指を瞬時に判断でき実演できるようにトレーニングを行っていく。					
注意点	五線紙は必ず用意し、常にメモは取ること。第三者が見てすぐに理解できるような明確な表記を心がける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受けることはできない。日々の反復練習を欠かさず行う事。配布資料・譜面は毎回必ず持参すること。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	確認とおさらい	ここまで内容の確認				
2回	臨時記号について（♯系）	音とポジションの把握				
3回	臨時記号について（♭系）	音とポジションの把握				
4回	調合について（♯系）	♯系キーにおける音とポジションの把握				
5回	調合について（♭系）	♭系キーにおける音とポジションの把握				
6回	調合と臨時記号について	調による臨時記号表記の違い				
7回	譜面上での楽曲の展開について（1）	反復記号（リピート）についての理解				
8回	譜面上での楽曲の展開について（2）	反復記号（D.C., D.S., Codaなど）についての理解				
9回	譜面上での楽曲の展開について（3）	既存曲を用い、反復記号を読み解く				
10回	譜面上での楽曲の展開について（4）	既存曲を用い、より複雑な反復記号を読み解く				
11回	譜面作成について	既存曲を用い、自身で構成譜を作成してみる				
12回	読譜の復習①	調号・ヘ音記号読譜・スケール・ポジショニング・音価の復習				
13回	読譜の復習②	アーティキュレーション・リズム譜読譜・音価のコントロールの復習				
14回	読譜の復習①	構成把握・臨時記号におけるフィンガリング・ポジショニングの復習				
15回	まとめ	全体の総まとめ				